



ふんぽりし

白山市国際交流協会 Hakusan International Association

No. 15

2013年3月発行

第1位 「秋の表参道」



- ・撮影者：羊 永明(中国)
- ・撮影時期：2011/11/1
- ・コメント：毎年紅葉を楽しみにしている人が結構いますがわざわざ遠い所に見に行かなくても近くにも素晴らしい所があります。私は白山比咩神社の表参道でその風景に感動しました。長い階段が何か奥深い感じがしました。

市国際交流サロンの日本語学習者や外国人住民を対象に、「私のお気に入りの場所または風景」及び「This is Japan ショット」をテーマに写真を募集したところ、11名から33作品の応募があり、外国人の視点で撮影されたすばらしい作品が集まりました。

作品は12月9日～28日の期間、年忘れ国際交流の集い会場(サンライフ松任)や国際交流サロン、樫の木モックで展示され、展示期間中に作品を鑑賞した市民の方々や外国人の方々に1人3点ずつ気に入った作品に投票していただきました。

C・O・N・T・E・N・T・S

- 特集 外国人フォトコンテスト……………1～2
- 国際交流サロンのページ……………3～4
- H.I.A.だより……………5～6
- JICA現地レポート……………7
- H.I.A.からのお知らせ……………8

第2位 「伝統的な日本の村五箇山」



- ・撮影者：ミヒリ・プリヤンワダ・グナティラカ (スリランカ)
- ・撮影時期：2012年春
- ・コメント：伝統的な五箇山の村は息をのむような景色がいっぱいで美しい山や田んぼに囲まれたスリランカの伝統的な農村を思い出させてくれます。でも春の五箇山の山々は若葉の緑がいつそう美しかった。

第3位 「都会」



- ・撮影者：ドワイ・ムラトノ (インドネシア)
- ・撮影時期：2012年夏
- ・コメント：日本が本当に好きです。文化や町などが好きです。日本の景色がとてもきれいです。山も海も良かった。

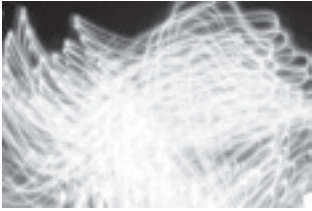
外国人フォトコンテストを 開催しました！



1月20日、市国際交流サロンにて、1位～3位の受賞者に市国際交流協会の福田会長(写真中央)より表彰状が授与され、賞品が贈呈されました。

表紙に引き続き、外国人フォトコンテストに応募のあった作品をご紹介します。

「ライトアップ」



・撮影者：シェーン・ケニー(アイルランド)
・コメント

左：週末のライトアップ、兼六園の外で撮ったものです。レンズを早く動かしたら、シンプルですが面白い写真が撮れました。
右：この写真はとてもラッキーでした。ちょうどカメラの前をタカが飛んでいきこの素晴らしい写真が撮れました。

「浅野川」



「日本の美」



・撮影者：スラジ(スリランカ)
・撮影時期：左：2011年秋、右：2012年春
・コメント

左：この写真は金沢駅前で撮ったものです。「阿波踊り」を見るのは初めてでした。とても楽しかったです。
右：この写真は津幡のひまわり村で撮りました。蜂と花の絆は分かち難いものようでした。私はこの瞬間を写して永久に残したいと思いました。

「蜂と花の絆」



「火渡り行者」



「若き炎」



「凧」



・撮影者：クリス・カナリアト(アメリカ)
・撮影時期：左：2008/7/1、中央：2008年8月、右：2007/5/1
・コメント

左：能登宇出津で開催されるあばれ祭りにて、打撃にたえる神輿。日本であまりみることができない非現実的な音と色のまざりあった万華鏡のようなお祭り。
中央：すばらしい松任の火祭りで大松明が炎に包み込まれる直前に撮影した写真。松任総合運動公園にて荒々しさが伝わるお祭りの最後の年に撮影された。
右：凧愛好者チームが世界の凧の祭典(内灘)にて巨大な作品をあげた瞬間をとらえたもの。

「夢見る富士」



「鼓動」



・撮影者：佐藤希美(クリスの奥様)
・撮影時期：左：2007年5月、右：2007年8月
・コメント

左：夜明け前、静寂に包まれた富士を見上げる。幻想的な富士の美しさは、現代社会の喧騒をしばし忘れさせてくれる。
右：佐渡島での夏祭りを撮影した写真。太鼓の鼓動、凛とした舞に魅了されシャッターを思わず切った。

「ありふれたもの」



・撮影者：リー・ジョン・ウォン(アメリカ)
・撮影時期：2011年
・コメント：これは日常にある平凡な場所です。日常の続き、生活に見られる私達の日常の場所です。大部分は白山の東にあり静かな海が広がり、その間で私達は日々過ごしています…

「祭り」



・撮影者：ロウ・ロックマン(スコットランド)
・撮影時期：2011年夏
・コメント：どのようにして私が日本を理解していったか…

「伏見稲荷鳥居」



・撮影者：ジェシカ・クラウゼンバーグ(アメリカ)
・撮影時期：2011年8月

「私の結婚式！」



・撮影者：矢木マルコ(ブラジル)
・撮影時期：2007年夏
・コメント：初めて袴をはきました。日本の結婚式は素晴らしいです。私の日本の新しい出発です。

今回初めて開催した外国人フォトコンテストですが、予想を上回る素晴らしい作品がたくさん集まり、多くの方に鑑賞し、投票していただきました。次回はテーマを変え、第2回外国人フォトコンテストを開催予定です。今回鑑賞出来なかった方も次回は展示会場に足を運んでいただき、ぜひ生の写真をご覧ください。次回、どうぞお楽しみに！

※この他にも、紹介しきれなかった素晴らしい作品がたくさんありますので、ぜひ協会ホームページをご覧ください。

場 所 白山市古城町2番地 TEL/FAX 076-274-3371
 E-mail : misalon@asagaotv.ne.jp
 開館時間 9:00 ~ 18:00 休 館 日 月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始

最近の日本語クラス ~交流型日本語クラス「わいわいカフェ」順調です~

交流型日本語クラス「わいわいカフェ」が始まり、早1年。平日と日曜日それぞれに月1回開催の「わいわいカフェ」は、どちらも毎回、名前の通り“ワイワイ”と会話が弾みます。

2月のテーマは「健康」。テーマに沿って、外国人学習者からの発話を日本人サポーターが促します。

日本語を話したいと思っている学習者からは好評のクラスです。

2月17日(日)

外国人8名(中国、ベトナム出身の研修生)、日本語サポーター8名が参加し、健康について、会話が盛り上がりました。外国人の皆さんは、若くても健康には気が付いているようでクラス最後の発表では、「健康のため野菜を食べています」「運動をしています」「体を鍛えています」「健康のためビールと肉を食べています」(一同?) 確かにビールもストレス解消のためには大事ですね。



日曜日のわいわいカフェは主に研修生が対象です。

2月22日(金)

外国人4名(中国、フィリピンの主婦)、日本語サポーター6名が参加しました。主婦が集まるとやはり家族が健康に暮らせるようにと会話が弾みます。「中国では、『花粉症』で困っている人がそれほど多くありません。日本では困っている人が多くて驚いた。」「日本には骨がついた肉が少ない。中国の市場では鶏、アヒル、カエルも売っているよ。」また体の不調を解消するためにツボを刺激すると良いとのお話に、日本人サポーターから「いた気持ちいい~」の単語を覚えてもらうと、外国人の皆さんは「わかる、わかる」と盛り上がりました。



平日のわいわいカフェは主に国際結婚された主婦層が対象です。

「わいわいカフェ」に参加した 日本語サポーターのひとこと

- 楽しく会話ができ、国により健康法が違うことがわかって楽しかったです。
- 毎月国籍を問わず皆さんに元気と笑顔をもらっています。楽しみながら共に学習できるスタイルに毎回、充実感があり、自分自身の何かを学ぼうとする意欲につながっています。

お知らせ 交流型クラス・子育てママ版

「くれよんカフェ」が始まります

毎月第2水曜日 10:00~11:30

幼稚園や保育園での連絡帳を書く、学校のお便りを読む、絵本や教科書を読む、ママ友と会話を楽しむ等、子育て中の外国人ママのニーズに特化したクラスです。進行する日本語サポーターも、現役ママたちが中心です。お子様連れもOK。

外国人ママたち集まれ!!

サロントピックス

国際交流サロンでは、縁があって白山市を訪れた外国人の方々とたくさんの出会いや別れがあります。企業実習生・研修生として3年間、白山市で暮らす方もいれば、1～3ヶ月といった短期間だけの滞在で、日中をサロンで過ごす外国人の方も少なくありません。今日ご紹介するお二人は、滞在期間は違いますが、サロンで多くの方と出会い、交流し、私たちにたくさんの笑顔と思い出を残し、このほど帰国されました。

コスタリカ出身のパウラ・バーガスさん



昨年、11月、中米のコスタリカからPaula Vargas（パウラ・バーガス）さんが、サロンを訪れました。3ヶ月間、美川のお友達の家でホームステイをするので、その間サロンで日本語を勉強したいとのことでした。彼女は、サロンで日本語の勉強やインターネットの利用の他、日本人を対象に、スペイン語のレッスンをしてくださったり、松任図書館では、子供たちにスペイン語で絵本を読み聞かせしてくださいました。短期間ながらも、日本を楽しみ、そしてコスタリカを私たちに紹介してくださったパウラさん。遠い中米コスタリカが、とても身近な国になりました。

パウラさんからのメッセージ

3ヶ月前サロンに来てとても幸運でした。私は日本語のクラスを探しにきただけなのですが、「2番目の家」を見つけました。友達といえる温かい心の人達に出会うことができとても幸せでした。寒い冬の時期でしたが、サロンの中で過ごせて良かったです。外国人をサポートする良い場所です。皆さん、これからもずっとお幸せに…心からありがとうございます。

インドネシア出身のエンダルトさん



インドネシアの技能実習生エンダルトさん。3年間の期限を終え3月1日に帰国されました。彼はインドネシア人研修生グループの中心的存在で、サロンとのパイプ役をしてくれたとても明るい青年でした。ありがとうございました。

エンダルトさんからのメッセージ

今までサロンでお世話になり、まことにありがとうございました。日本語、日本の文化とてもうれしかったです。元気でがんばって仕事をします。時間があつたらまた皆さんに会いたいです。日本 さようなら…

友だちの輪

(外国人市民を紹介するコーナーです)

グエン テイピッチ トイさん(左)
チャン テイ ハイさん(右)
(ベトナム出身、宮永町)



私たちはベトナムから来てもうすぐ2年になります。休みの日はいつもサロンに来て日本語を勉強します。

サロンで先生に日本語と日本の生活を教えてもらっています。サロンでは、いろいろな国の人と友達になることができます。一番楽しかったことは年忘れの集いです。ベトナムの春巻きを作って、会場のいろいろの国の友達に食べてもらいました。とてもいい思い出になりました。これからも日本語や日本の文化と習慣をもっと知りたいと思っています。

皆さん、どうぞよろしくお願いします。

外国語による絵本読み聞かせのお知らせ

● 世界の絵本読み聞かせ春 松任図書館主催

日 時：3月30日(土) 11:00～11:30

読み手：スチュワート・アンドリュー

(オーストラリア出身)

*英語の本を読みます。

● 外国絵本の読み聞かせ ABCの会主催

日 時：4月13日(土) 11:00～11:30

(毎月第2土曜日に開催しています。)

協会の通訳翻訳部会のABCの会が主催する読み聞かせです。メンバーが英語で絵本を読んだり、サロンで学習する外国人が読んだり、毎回趣向を凝らして開催しています。

外国語で絵本を読んでくださる方(日本人・外国人問わず)を募集中です。いっしょに活動しませんか。

*読み聞かせの場所はともに、松任図書館2階お話しルームです。

第18回国際フレンドシップアート展

10月23日～2月13日

親善友好都市等の小中学生の絵画を一堂に展示する国際フレンドシップアート展が、「もしも魔法が使えたら」をテーマに開催され、市内小学生を含む5カ国6都市、計109点の作品を市内2か所の公共施設と6つの小学校で展示しました。また、市内在住の挿絵画家西のぼる先生によって、各都市から1点の優秀作品が選ばれ、それらの作品は、市のホームページでも紹介されています。



▲白嶺小学校での展示の様子

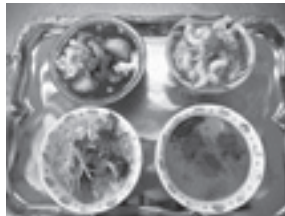
世界の料理教室【国際理解部会事業】

第1回 いろいろなスープ 11月7日

健康センター松任で、4カ国(ペルー、タイ、ベトナム、フィリピン)のスープ作りに挑戦しました。メニューは、アロス・アグアディート・デ・ポージョ(ペルー)、トムヤムガイ(タイ)、ベトナム風コーンと鶏肉スープ(ベトナム)、マカロニスープ(フィリピン)です。各国出身の講師の方が、材料や作り方、どのような時に作るのか等、たくさんのお話を交えながら参加者と楽しく調理をしました。でき上がった色鮮やかな4種類のスープを全て試食することができ、皆さんから「とても美味しい」と好評でした。普段家庭であまり使わない食材もあり、本格的なスープに皆さん大変満足していました。



▲ペルーのスープ完成!参加者と記念撮影。



▲4カ国のスープ出来上がり!記念撮影。

第2回 バングラデシュ料理 11月10日

鶴来保健センターで、金沢大学留学生のゴラム・アバスさんを講師に迎え、バングラデシュ料理を作りました。メニューは、野菜カレー、チキンカレー、野菜ピラフの3種類で、カレーといっても日本のご飯にかけるとは違って、カレー味の煮物のようなおかずも完成しました。バングラデシュは、インドよりカレーの消費量が多く世界一カレーを食べる国で、今回もガラムマサラ等のスパイスを使って調理を楽しみました。完成した料理を食べながら、スライドによるバングラデシュ紹介もあり、参加者と楽しい時間を過ごすことが出来ました。



▲野菜ピラフの作り方を教えているゴラム・アバスさん(写真右)



▲3種類の料理が完成!

金城大学留学生1泊2日ホームステイ

11月10日～11日

金城大学に通う中国人留学生5名が、それぞれ市内のホスト家庭宅に1泊し、日本の家庭の雰囲気味わうと共に、ホスト家庭との楽しい団欒の時間を過ごしました。対面式後のアイスブレイクでは、金城大学准教授のガート・ウエスタハウト氏による俳句の歌を全員で合唱しました。「笑う門には福来たる」を英語と中国語の歌詞にし、中国語で俳句の歌を歌いました。中国語の歌詞はメロディーにぴったりと合い皆さんすぐに歌えるようになりました。



▲留学生とホスト家庭の皆さん

藤枝市国際友好協会との意見交換会・視察訪問

11月15日～16日

白山市国際交流協会の福田会長以下、協会員11人が親善友好都市の静岡県藤枝市を訪問しました。

15日は、藤枝市国際友好協会と藤枝市文化協会の事務局表敬、蓮華寺池公園を見学した後、藤枝市役所で藤枝市国際友好協会との意見交換会を行いました。意見交換会では両協会の事業紹介や質問を通し、両協会への理解を深めるとともにお互いの協会の良い点や課題などについて意見を交わしました。2時間という時間でしたが、あっという間に時間が経ち、話が絶えることのない有意義な会となりました。16日は藤枝市内視察で、玉露の里や大旅籠柏屋(おおはたごかしばや)を視察しました。玉露の里で頂いた美味しい玉露に皆さん舌鼓を打っていました。



▲藤枝市の協会役員の皆さん

市ALTによる英語講座【国際理解部会事業】

11月15日～16日

ひと言で英語と言っても、国によって発音やスペル、普段用いる文法や語彙は様々です。この国による違いを市ALT(Assistant Language Teacher)のキャサリン・ロバートソン(イギリス)、イングリッド・フィッシュ(オーストラリア)、ブラッドリー・グリフィン(アメリカ)、イーマン・ナスラット(カナダ)の4名に紹介してもらいました。4カ国それぞれの教育システムの紹介では、ALT一人ひとりがパワーポイントを使って紹介しました。カナダでは、高校も大学も入学試験がないということに、皆さん大変驚いていました。4カ国の英語と教育システムの違いを知るとい内容に、皆さんとても興味津々で、質問タイムでは皆さんの質問をしていました。



▲カナダの教育システムをクイズ形式で紹介するイーマンさん(写真右)

年忘れ！国際交流の集い【部会全体事業】

12月9日

毎年恒例の協会員と外国人市民との交流を深める「年忘れ！国際交流の集い」がサンライフ松任で開催され、11ヶ国78名の外国人の皆さんと協会会員等総勢187名が参加しにぎやかに行われました。

今年の世界の料理コーナーは、外国人市民手作りのスリランカ料理、ベトナム料理、タイ料理、フィリピン料理が並び、日本人協会員の方も手作りの日本料理を持参し、たくさんの種類の料理が揃いました。また、アトラクションタイムでは、登副会長の日本舞踊に始まり、着物・民族衣装ショー、インドネシアの歌、Hip Hop Dance、最後は、小松市の国際交流員のリマ・ハファエレさん（ブラジル出身）に、ブラジルのリズムダンス「アシエ」を披露してもらい、みんなで音楽に合わせて楽しく踊りました。ちびっこタイムには、ジオキャラクターの「ゆきママとしずくちゃん」が会場に駆けつけてくれ、子供たちに大人気でした。さらに今年は、会場入り口に外国人フォトコンテストの応募作品を掲示し、気に入った作品に投票していただきました。



▲世界の料理コーナー。写真はベトナムの焼き春巻き。



▲外国人の着物・民族衣装ショー。皆さんとても華やかです。



▲ちびっこタイムでは、「ゆきママとしずくちゃん」から子供達にプレゼント。



▲ブラジルのリズムダンス「アシエ」で会場は大盛り上がり。

雪遊び-かんじき体験【共生交流部会事業】

2月3日

8ヶ国35名の外国人とその家族、共生交流部会員、スタッフの総勢39名が白山ろくのブナオ山観察舎でかんじき体験をしました。参加者は、ベトナムやスリランカ等、雪が降らない国の出身者がほとんどで、日本人でも馴染みが薄いかんじきを履き、雪上ハイキングを楽しみました。また、歓声をあげながら雪山を登り、ビニール袋を使つての尻滑りも体験しました。スピードもありスリル満点、背中まで雪が入つたと大騒ぎをしながら何度も滑りました。その後、一里野温泉スキー場へ移動し、そり遊びや散策を楽しみました。真冬とは思えない好天に恵まれ、参加した皆さんにとって思い出深い一日となりました。



▲スリル満点の尻滑り「ヤッホー!!」



▲好天に恵まれ、楽しい雪遊び体験となりました。

白峰雪だるままつりツアー【通訳翻訳部会事業】

2月8日

冬の白山市の魅力を残学生など外国人の皆さんに体験してもらおうと、HIA主催の雪だるままつりツアーを実施し、9ヶ国35名の外国人と、通訳翻訳部会員、通訳サポーター、ガイド、事務局スタッフの総勢41名が参加しました。

雪が降らない国からの参加者も多く、会場や民家などの前に並んだたくさんの雪だるまを見て楽しみました。夕方からはキャンドルでライトアップされ、まつり会場全体が幻想的な雰囲気に包まれました。

会場内のあちらこちらには地元の特産品を利用したフードコーナーも出店しており、参加者は村内を散策しながら、食べ歩きも楽しみました。



▲「ゆきママとしずくちゃん」の大きな雪だるまと記念撮影。

集まれ外国人ママ！子育てサロン【共生交流部会事業】

3月6日

市内に住む外国人の母親を対象に、白山市役所の保健師の方を講師に迎えて育児の悩みを聞く等の交流会を松任公民館で開催しました。中国、フィリピン出身の母子7組のほか、ご主人が外国人あるいは、両親ともに日本人の母子、部会員等25名が参加しました。

青年海外協力隊でラオスに派遣経験のある保健師の方から、ラオスでの育児事情などについてのお話を聞いた後、フリートークでは「子供には日本語のほかに、母語（母親の出身国の言語）も話せるようになってほしいが、どうしたらいいか」、「子供からの質問に日本語でうまく答えられない」など、外国人ママならではの悩みが打ち明けられました。



▲和やかな雰囲気の中でフリートークを楽しみました。



▲親子で出来るストレッチを教えてくださいました。

児童英語導入ワークショップ【通訳翻訳部会事業】

3月9日

児童の英語教育の第一人者である昭和女子大学附属昭和小学校校長の小泉清裕先生を講師に迎え、児童英語ワークショップを開催しました。ワークショップには、松任図書館で子供たちに英語絵本の読み聞かせを行っている協会会員の皆さんや教員、一般の方など30名が受講されました。

英語は「聞くこと」から始めて楽しさを体験させることが大切とおっしゃる先生は、数字のカードを使った遊びやゲーム、DVD、絵本などをふんだんに取り入れた手法を紹介し、生徒となった参加者の皆さんは、童心に帰り、英語の楽しさを思いっきり体験していました。



▲皆さん小泉先生の興味深いお話を熱心に聞いていました。

JICA 現地レポート

～本市出身の青年海外協力隊員からの便り～

今回は「現地での楽しみ&苦労」をテーマに記事を書いてもらいました！



隊員名：米林明祐実さん(相川新町)
派遣国：ブータン
職種：デザイン
派遣期間：2012.6～2014.6



日本ではほとんど見かけることのないブータン料理。唐辛子をこよなく愛するブータン人のソウルフードは唐辛子をチーズと油で煮込んだものです。他の料理もどれも辛いものばかり、バリエーションも決して多くありません。慣れてしまえば病み付きのブータン料理ですが、高カロリーで野菜も少なめなのであまり健康的とも言えず、飽きがきてしまうことも。基本的にはストレスの少ない国ではありますが、食に関しては日本を恋しく思うことが多くあります。

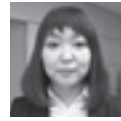
ブータン人は唐辛子の他に、甘いミルクティーもとても大好きです。ンガジャと呼ばれるそのミルクティーを同僚と共にゆっくり飲む時間がこちらの楽しいひとときになっています。



▲手前が米林さんの配属先の農林省情報通信部、奥がタシチョ・ゾンという政治・宗教施設。



▲ブータン料理。普段はもっと質素です。



隊員名：幸正尚子さん(北成町)
派遣国：ジャマイカ
職種：手工芸
派遣期間：2012.10～2014.10



ジャマイカ国内で最も治安の悪い場所といわれている首都・キングストンに赴任し、見つけた私の「楽しみ」は、自宅から徒歩3分の場所にある、公園でのジョギングです。道路が穴だらけで、排気ガスがひどく、交通マナーの悪いこの国では、道路を走る事は危険なのですが、この公園には一周500mのトラックがあり、警備員も多く、木々の手入れも行き届いているため、安心して運動することが出来ます。

またジャマイカでの「苦労」といえば、通勤です。バス通勤ですが、時刻表がないため、長い時で40分ほど待ちます。また車内は首都圏並みの混雑で、すし詰めという言葉がぴったりです。ジャマイカ人と肌と肌を密着させながら、毎朝約1時間かけて通勤しています。



▲お気に入りの公園。「Emancipation Park=解放記念公園」



▲隊員専用のドミトリー(6階)から見た公園の風景。

※他にも本市出身の6名の方が、現在、青年海外協力隊員として各任地で活動されています。



隊員名：岩淵有芳さん(日向町)
派遣国：バングラデシュ
職種：PCインストラクター
派遣期間：2012.9～2014.9



バングラデシュ、タンガイル技術訓練センター・コンピュータ科にて、PCインストラクターとして、基礎PCコース及びグラフィックコースの授業、システム管理を行っています。まず現地での楽しみは何と言っても異文化交流です。バングラデシュでは外国人が珍しいため、どこに行っても声を掛けられ人集りが出来ます。「どの国から来た?」「仕事は何?」「結婚してる?」「宗教は何?」などなど、次から次へと質問攻めに遭います。楽しんで会話すれば自分自身のベンガル語も非常に上達します。現地での苦労はやはり埃(ほこり)が多く、大気汚染が酷い事。計画停電が1日に1,2回、約1時間程ある事。よく断水する事などなど。しかし、バングラデシュは非常に面白い国です。是非、皆様、お越し下さい。



▲授業を教えている生徒達と。(右から2人目が岩淵さん)



▲パソコンの授業の様子。

「JICA 国際協力セミナー in 白山市」を開催しました！

平成24年10月20日に市民交流センターで、JICA国際協力セミナー(市国際交流協会協賛)を開催しました。セミナーでは、日本が行っている国際協力・途上国支援について、また、本市出身の青年海外協力隊経験者2名による貴重な体験談を聞くことが出来ました。

体験談の講話者1人目は、小堀香奈さん(千代野東四)よりウガンダの紹介、ウガンダでの生活や音楽の授業について、現地で驚いたこと(現地語でパンナンゲ!)の話があり、最後は現地で感じた「水の大切さ」や本当の意味での「いただきます」の大切さを話されました。

2人目は、東野奈津恵さん(法仏町)より、中米エルサルバドルでの“ハリなし蜂蜜”の生産から販売までの講話があり、自ら考えた新しいラベルデザインで、実際に売上に貢献し、地元のテレビ取材にも受け答えする姿がとても印象的でした。現在は、株式会社のとじまファームに勤めています。



▲小堀さん。現地でオーダーしたワンピースを着ています。



▲東野さん。現職のお話も熱く語ってくれました。

H.I.A.からのお知らせ

平成24年度会費を納めていただいた特別会員(企業・団体)の皆さんです。厚くお礼を申し上げます。(敬称略、50音順)

No.	名 称	No.	名 称	No.	名 称
1	(株)あさがおテレビ	18	(有)東栄工業	35	白山市ロシア協会
2	(株)浅野太鼓楽器店	19	(株)トスマク・アイ	36	白山青年会議所
3	石川情報交流事業協同組合	20	トップツアー(株)金沢支店	37	白山ロータリークラブ
4	医療法人社団 白山会	21	中村留精密工業(株)	38	(株)羽田合金
5	(有)印刷のシコー	22	(株)ナナオ	39	(株)フードサービス松任
6	(株)エヌティエル	23	ニッコー(株)	40	(有)フジタ印刷
7	学校法人 金城大学短期大学部	24	(株)日本旅行 金沢支店	41	(株)北國銀行松任支店
8	協和道路(株)	25	能登印刷(株)	42	前田印刷(株)
9	グランドホテル松任	26	白山石川ロータリークラブ	43	(株)松建
10	高齢者レクリエーション教室	27	白山市管工事協同組合	44	松任市農業協同組合
11	(株)JTB中部金沢支店	28	白山市北消防団	45	松任土地改良区
12	(株)スノーエアマネジメント白山	29	白山市体育協会	46	松任ライオンズクラブ
13	千代野建設(株)	30	白山市町会連合会	47	(株)マップ
14	TEAM はくさん 21	31	白山市日本中国友好協会	48	美川商工会
15	鶴来商工会	32	白山市文化協会	49	美川ライオンズクラブ
16	鶴来ライオンズクラブ	33	白山商工会	50	名鉄観光サービス(株)金沢支店
17	手取川七ヶ用水土地改良区	34	白山商工会議所	51	(株)メープルハウス

以上51社(団体)

松任城址公園春まつりに今年も参加します!

昨年、地域の皆さんに好評を博したことから、サロンでは今年も、松任城址公園春まつりに外国料理ブースを出し、これに協力して下さる会員を募集しています。

今年も、外国人の皆さんが出店する料理ブース等で外国人の皆さんのお手伝いをして、一緒に楽しみませんか。

* 松任城址公園春まつり *

日時：4月21日(日) 午前10時～午後4時
会場：松任城址公園、市民工房うるわし前広場
【連絡先】市国際交流サロン TEL 274-3371

子供用の和服を提供して下さいませんか。

年忘れ国際交流の集いなど国際交流事業で子供が和装体験するための着物のご提供をお願いしています。男児用、女児用どちらでも結構です。ご家庭で眠っている子供の着物がありませんでしたら、ぜひご提供ください。市国際交流サロンで大切に保管し、末長く活用させていただきます。募集数：できれば男児・女児用各5着程度。

【連絡先】市国際交流サロン TEL 274-3371

白山市国際交流協会 部会員随時募集中

部会制がスタートして丸1年が経ちました。この1年、各部会員の皆さんのお力で、たくさんの事業が企画、実施されました。事業の企画や運営に関心のある方は、ぜひ部会員になってみませんか。

- ①日本語部会 ②共生交流部会 ③通訳翻訳部会
④国際理解部会 ⑤広報部会

国際交流サポーターのご活用を

市国際交流協会では、通訳翻訳や日本語指導、外国文化紹介など、市民の特技や専門的な能力を活かす「国際交流サポーター」の登録・派遣を行っています。学校や病院、団体、サークル等で、下記サポーターの派遣を希望する場合は、市国際交流サロンまでご相談ください。

(例) 通訳を派遣してほしい、外国の文化を紹介してほしい、日本語サポーターを派遣してほしい等。

* 国際交流サポーターの種類 *

- ①通訳翻訳サポーター ②日本語サポーター
③日本文化サポーター ④外国文化サポーター

【連絡先】市国際交流サロン TEL 274-3371

イギリス・ボストン町から中学生が来市

昨年7月に本市の中学生がホームステイでお世話になったボストン町から、今年は中学生8名が白山市を訪れます。ホームステイ期間中は、学校訪問や文化体験などを通じて、市民と交流を深める予定です。

来市期間：7月14日(日)～25日(木) 11泊12日
来市人数：10名(引率者2名、中学生8名)

オーストラリア・ペンリス市派遣高校生募集

対象：市内在住の高校1年生・2年生(H25年夏の派遣時)
期間：平成25年7月24日(水)～8月4日(日) 11泊12日
(うち、ペンリス市でのホームステイ9泊、シドニー市1泊)

定員：15名 費用：約12万円(自己負担額)

申し込み期間：3月27日(水)～4月15日(月)

【応募説明会】まずは、説明会へお越しください。

日時：3月26日(火)午後7時～

場所：市民交流センター4階(市役所となり) *保護者同伴

溧陽市中学生のホストファミリー募集

募集：ご家庭に中学生か高校生がいる10家庭

期間：8月1日(木)夕～8月4日(日)朝までの3泊4日

申し込み締め切り：4月26日(金)まで

【問い合わせ・申し込み】市国際交流課 TEL 274-9520

編集後記

部会となり一年がたちました。部会員皆様のご協力でたくさんの事業が企画、実施されました。一番の大きなイベント、「年忘れの集い」は部会全体が関わり、良いアイデアがたくさん出て大いに盛り上がりました。来年度もより良い部会活動を目指し、広く皆さんのご意見を聞いていきたいと思っております。来年度もご協力よろしく願います。

発行 ■白山市国際交流協会(Hakusan International Association)
事務局/白山市役所観光推進部国際交流課 TEL 076-274-9520
白山市国際交流サロン TEL 076-274-3371
E-mail: toshikouryu@city.hakusan.lg.jp(国際交流課)
misalon@asagaotv.ne.jp(国際交流サロン)